

平成 30 年度  
事業計画書

短期入所生活介護

大津みやび野ホーム短期入所生活介護

法人理念 「いたわりと思いやり」 「地域福祉の拠点として」

## 1. 事業の内容

事業の指定	(介護予防) 短期入所生活介護
事業の名称	大津みやび野ホーム短期入所生活介護
指定番号	2874007681
施設の所在地	〒671-1146 姫路市大津区大津町一丁目 31-111 TEL 079-236-7760 / FAX 079-236-3180
事業開始	平成26年4月1日
管理者	施設長 細野欣之
利用定員	10人/日

## 2. 事業目標

次に掲げる年度目標の具体的対応策を周知・実行し、理念の実現を目指す。

目 標	質の高い余暇プログラムを実施できるよう標準化を図る。 (余暇活動、行事のマニュアル化を図る)
理 由	リハビリ体操やレクリエーションは毎日実施できており、定例行事の導入も実施が行えた。しかし実際に内容のマンネリ化や個々の職員によって提供内容にもばらつきが見られたため、誰でも一定以上の余暇活動を提供できる必要性を感じたため。
具体的対応策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業所会議にてレクリエーション計画・取り組みの現状や問題点における情報の共有を行う。</li> <li>2. 事業所会議の中で新たな取り組みの提案や具現化について話し合い、担当する職員や準備工程を明確にする。</li> <li>3. 現在、定期的実施できている余暇活動(喫茶、外出、おやつ作り)を秋頃までにマニュアル化する。</li> <li>4. 毎年実施しているアンケート内容を、満足度を数値化したものに変更し、提供しているサービスを客観的に評価できるようにする。</li> </ol>

### 3. 職員配置

介護保険法に定められている人員配置基準を遵守し、利用者の方々が、安全で快適生活が過ごせるように次の人員を配置する。

職 種	常 勤	非常勤		フルパート		パート		合 計	
		人数	換算	人数	換算	人数	換算	人数	換算
施 設 長	1							1	1.0
事 務 員						1	0.6	1	0.6
介護支援専門員	1							1	1.0
生活相談員	1							1	1.0
管理栄養士	1							1	1.0
栄 養 士	1							1	1.0
機能訓練指導員	1							1	1.0
看 護 職 員	3			1	0.9	1	0.3	5	4.2
介 護 員	24			5	4.8	12	5.2	41	34.0
調 理 員	1			3	2.9	11	4.8	15	8.7
医 師						1	0.1	1	0.1
宿 直 員						3	2.1	3	2.1
そ の 他		1	0.9					1	0.9
合 計	34	1	0.9	9	8.6	29	13.1	73	56.6

※短期入所生活介護の人員も含む。

### 4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、全ての職員が次のいずれかの委員会に属し、他職種との連携をより一層密に、効果的な事業展開を図る。

委員会名	活 動 目 標	活動回数
食 事 委 員 会	食の楽しみため、選択できる食事の提供を行う。食事マニュアルの検証を実施する。	毎月1回開催 【施設内研修】 1月
リスク管理 委 員 会	ヒヤリハット報告書を全職員が必ず月に1回は提出するようにし、リスク意識を高める。また、事故対応マニュアルの見直しを行う。	毎月1回開催 【施設内研修】 10月・3月
感染委員会	ノロウイルス、疥癬、インフルエンザの予防、発症における対応策の啓発を行う。また、感染症対応マニュアルの検証を実施する。	毎月1回開催 【施設内研修】 6・11月

委員会名	活動目標	活動回数
褥瘡委員会	各職種との連携を図り褥瘡ゼロを目指す。褥瘡マニュアルの検証を実施する。	毎月1回開催 【施設内研修】 8月
医療的ケア安全対策委員会	日頃の健康チェック、嘱託医、各職種との連携を通して利用者の健康維持を図る。また、服薬管理マニュアルの検証を実施する。	毎月1回開催 【施設内研修】 5月
身体拘束虐待防止委員会	身体拘束は人権擁護の観点から問題があるだけでなく、生活の質、人としての尊厳を根本から損なう危険性を有していること、拘束することによって起こる身体的、精神的、社会的弊害を理解し、身体拘束ゼロを目指す。	毎月1回開催 【施設内研修】 4月
OJT教育委員会	育成過程を通じてストレスマネジメントも兼ねた4ヶ月に1度の面談を実施。統一されたケアの提供、バーンアウトの防止を図る。年度末にチェックシートの検証を実施する。	毎月1回開催 【職員面談】 4ヶ月に1回
排泄委員会	個々にあった排泄支援（トイレでの排泄、適正な尿パッドの使用等）の取り組みを行う。また、排泄マニュアルの検証を実施する。	毎月1回開催 【施設内研修】 7月
入浴委員会	心身の清潔の為だけではなく、入浴もレクリエーションと捉え、手浴、足浴を各ユニットにて週1回以上は実施する。また入浴マニュアルの検証を実施する。	毎月1回開催 【施設内研修】 9月
レクリエーション委員会	レクリエーションの意味を理解し、メリハリのある生活を送れる取り組みを行う。	毎月1回開催

## 5. 年間行事計画

利用者の方々が家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、メリハリのある生活や馴染みの習慣が継続できるように季節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	内容
4月	①お花見	①近隣にドライブに出かけ、花見を行う。
5月	①ドライブ外出	①新舞子海岸や相生方面などへ出かけ外気浴を行う。
7月	①大津茂小学校夏祭り	①大津茂小学校で行われる地域の夏祭りに参加し、イベントを楽しみ地域交流を図る。

月	行事内容	内容
8月	①夏祭り	①特別養護老人ホームの入居者と一緒に盆踊りやアトラクションを楽しむ。
9月	①寿会	①岩波右扇会の踊りを全員で楽しむ。
10月	①秋祭り見学（魚吹神社）	①天満地区などの屋台の練り合わせを見学する。
11月	①ドライブ外出	①新舞子海岸や相生方面などへ出かけ外気浴を行う。
12月	①クリスマス会	①忘年会を兼ねて特別養護老人ホームの入居者と一緒に食事やアトラクションを楽しむ。
1月	①初詣（魚吹神社・広畑天満宮）	①近隣の神社へ初詣の参拝に出かける。
2月	①節分（豆まき）	①節分の豆まきを行う。
3月	①入居者との意見交換会	①特別養護老人ホームの入居者と一緒に生活に対する意見交換会を施設長も交えて実施する。

## 6. サービスの種類及び概要

利用者の方々が家庭的な雰囲気のもと、日々の生活がすごせるように次のサービスを行う。

サービスの種類	開催日	概要
散髪	毎月第2火曜日	理容師の訪問により散髪を行う。(実費)
訪問販売	毎週火曜日	パン・菓子類の買い物を行う。
手作りおやつ	毎月1回	季節に応じた手作りおやつを行う。
ドライブ外出	毎月1回	季節を感じる事が出来る外出を行う。
喫茶	毎月2回	選択メニューによる喫茶レクリエーションを行う。
園だよりの発行	毎月1回	事業所の活動内容や取り組み等を毎月1回広報誌として発行する。

## 7. 施設の安全対策

利用者の方々の安全な生活を継続するため、予測が難しい災害への対策を次のとおり行い、防災意識を高める。

月	訓練種目	内容
4月	防災設備訓練	防災に関する設備の使用を方法の訓練
5月	みやび野合同訓練	みやび野エリアでの連携訓練
6月	消防訓練（夜間体制）	夜間を想定した火災訓練
7月	備蓄食配付訓練	災害を想定した備蓄食配付訓練及び確認
8月	消防訓練（日中体制）	日中を想定した火災訓練
9月	消防訓練（夜間体制）	夜間を想定した火災訓練
10月	消防訓練（夜間体制）	夜間を想定した火災訓練
11月	みやび野合同訓練	みやび野エリアでの連携訓練
12月	消防訓練（日中体制）	日中を想定した火災訓練
1月	災害対策訓練	災害時の情報収集等における特別訓練
2月	消防訓練（夜間体制）	夜間を想定した火災訓練
3月	消防訓練（夜間体制） ※網干消防署立会	夜間を想定した火災訓練

## 8. 施設内職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研修名	対象	研修担当
4月	倫理及び法令遵守、 個人情報保護に関する研修 人権意識〔身体拘束〕について	全職員	理事長・施設長・事務長 身体拘束虐待防止委員会
5月	服薬、高齢者の疾病について	介護・看護職員	医療的ケア安全対策委員会
6月	感染症について（食中毒）	介護・看護職員	感染委員会
7月	排泄ケアについて	介護・看護職員	排泄委員会
8月	褥瘡について	介護・看護職員	褥瘡委員会

月	研 修 名	対 象	研修担当
9月	入浴ケアについて	介護・看護職員	入浴委員会
10月	リスクマネジメントについて	全職員	リスク管理委員会
11月	感染症について (ノロ、インフルエンザ)	全職員	感染委員会
12月	終末期ケアについて	介護・看護職員	身体拘束虐待防止委員会
1月	食事ケアについて	介護・看護職員	食事委員会
2月	介護保険制度の施策・動向について	全職員	施設長
3月	リスク管理研修 (事故集計と振り返り)	全職員	リスク管理委員会

## 9. 研修計画

各職員の職種と役割、経験年数に合わせて、習得するべき能力やスキルを明確にし、それに応じた研修への参加を促す。

対 象	研 修 内 容	研 修 名
管理職・事務員	・ 社会保障及び公的年金の種類や役割について	社会保障・公的年金研修
生活相談員 訓練指導員	・ 第一興商のカラオケを活用した音楽健康セッションのプログラムについて	音楽療法研修
看護職員 介護職員	・ 介護と看護の医療面における連携のあり方や看取りについて	看取りケア強化研修
介護職員	・ ケアをする側・される側のどちらも負担の少ない介護技術について	介護技術研修
管理栄養士・栄養士 調理員	・ 食事や厨房の衛生に関する知識及び意識の向上について	衛生管理研修
運転手	・ ドライバーとしての運転傾向の自己覚知や運転における意識向上について	安全運転研修
法人全体	・ 職員の倫理に関する意識向上及び虐待防止研修	職員倫理研修
法人全体	・ 福祉のプロとして日々の業務における接遇のあり方について	接遇研修
法人全体	・ 職員の健康増進及び生活習慣病等について	産業医研修